

令和7年学友会評議會を開催

名古屋大学医学部学友会は、令和7年7月5日（土）、医学部鶴友会館2階大会議室において、令和7年評議會を開催した。会議は対面とWeb会議によるハイブリッド形式で行われ、評議員及び陪席者の出席のもと、各議案の審議と報告が行われた。

当日は、対面で丸山副会長、宇野副会長、西口庶務部長をはじめとする評議員24名が出席し、Webでは勝野会長、八谷会計部長を含む評議員11名が参加。委任状による出席者は40名で、評議會としての成立要件を満たした。陪席者として西尾耳鼻咽喉科学准教授も同席した。

会議は勝野会長の開会宣言により開始された。議事に先立ち、会の慣例に従い、議長及び副議長の選出が行われた。今回は支部から議長、名大内から副議長を選出する順番にあたり、宇野名古屋支部長（副会長）が議長に、西口庶務部長が副議長にそれぞれ選任された。

続いて、勝野会長による会長挨拶、丸山副会長及び宇野副会長による副会長挨拶が行われた。

その後の議事では、まず令和6年度決算及び令和7年度予算についての審議が行われた。宇野議長の提案に続き、八谷会計部長が資料に基づいて説明を行い、出席評議員による審議の結果、決算及び予算案はいずれも承認された。

次に、名古屋大学医学部学友会会則の一部改正についての審議が行われた。宇野議長の提案に基づき、勝野会長が資料に基づいて改正内容を説明した後、改正案は承認された。

続いて、令和7年度名誉会員の選出が審議された。宇野議長が提案を行い、資料に基づき、名誉会員の推薦要件を満たす4名（※1）について説明がなされた。審議の後、全会一致で承認された。

報告事項においては、まず会務に関する報告が西口庶務部長から行われた。資料に基づき、令和6年度に開催された各支部総会の内容が報告された。次いで、令和6年度第115回学友大会についての活動報告及び会計報告が行われた。

さらに、西尾耳鼻咽喉科学准教授から令和7年度第116回学友大会についての案内があり、10月11日（土）に名古屋観光ホテルにおいて開催予定であることが報告された。

また、坂口中国四国支部長から、令和7年2月に発足した中国四国支部について報告があった。

その後、宇野議長から新評議員17名（※2）のうち、会議に出席した13名の紹介があり、各人が自己紹介と挨拶を行った。

続いて、令和6年度中に逝去の報告があった27名（うち会員19名）と、本年5月7日に逝去された加藤延夫

名誉会員（名古屋大学第10代総長）について報告され、1分間の黙祷が捧げられた。

最後に、宇野議長より閉会の宣言があり、すべての議事を終了した。

今回の評議會では、予算や会則の改正といった学友会の運営に関わる基本事項に加え、新支部の発足や今後の行事予定など、多岐にわたる報告と審議が行われた。各議案は所定の手続きを経て承認され、今後の活動方針が明確化された。

※1：新名誉会員（4名）

加納 忠行 東濃支部長	小寺 泰弘 名誉教授
加藤 克彦 名誉教授	飯高 哲也 名誉教授

※2：新評議員（17名）

名古屋支部	立松 美穂
尾北支部長	河野 彰夫
岐阜支部	藤原 道隆
飛騨支部長	毛利 喜洋
三重県支部長	田中 孝幸
中国四国支部長	坂口 剛正
中国四国支部	小川 恵子
機能組織学教授	桐生寿美子
消化器外科学教授	神田 光郎
形成外科学教授	橋川 和信
麻酔・蘇生医学教授	秋山 浩一
分子遺伝学教授	中沢 由華
データ駆動生物学教授	本田 直樹
先端医療開発部教授	橋詰 淳
薬剤部教授	池末 裕明
神経性調節学教授	笠井 淳司
精神病理学・精神療法学教授	岡田 暁宜

（文責：学友会事務局）

